

Vol.30

にこにこ

前原病院 広報誌

発行日 平成 27 年 11 月 15 日

医療法人 慈生会 前原病院

院長 前原 敬悟

慈生会の理念

慈しみの心と、
真心の医療。

- 一、すべての人の人生を平等に大切に考えます。
- 一、私達はどんなときにも患った人々に笑顔と優しい言葉で接します。
- 一、私達は健康に良い美しい環境造りに努めます。
- 一、私達は地域との連携を図り、患者様の社会生活を支えます。
- 一、新しい医療・介護の知識・技術の習得に努め、日常の業務に反映します。
- 一、笑顔で働きがいのある職場作りに努めます。

インフルエンザの予防

◎インフルエンザとは

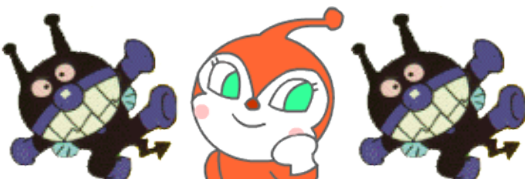
インフルエンザウイルスがのどや肺、気管支で感染、増殖する事によって発症する病気です。

◎インフルエンザとかぜの症状との違い

インフルエンザは普通のかぜとは異なり、

- ・突然の 38℃以上の「高熱」
- ・関節痛、筋肉痛、頭痛
- ・全身の倦怠感、食欲不振

などの「全身症状」が強く現れます。



◎インフルエンザの季節性

普通のかぜは1年を通して見られますがインフルエンザは季節性を示し、日本では例年11～12月頃に流行が始まり、1～3月にピークを迎えます。

◎インフルエンザの予防

インフルエンザワクチンの接種が有効です。毎年、流行シーズンの前に接種しましょう。

●日常生活における予防法

- ・外出後の手洗い・うがいは、予防の基本！です。
- ・人ごみを避けて外出時のマスク着用を忘れないようにします。
- ・栄養と休養を十分に摂ります。
- ・室内の加湿と換気を行います。

◎インフルエンザに感染した時

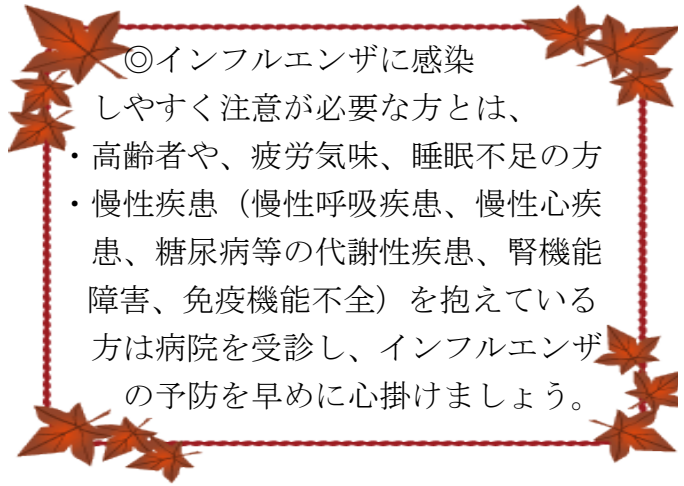
インフルエンザウイルスは増殖のスピードが速いため、症状が急速に進行します。インフルエンザ特有の「全身症状」が現れた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザ発症後すぐに適切な治療を受けることが重要です。



インフルエンザに感染した場合には下記の生活ポイントを守りましょう。

- ・家族と寝室を分け、安静にして休養を取り、特に睡眠を十分摂ります。
- ・水、お茶、スポーツ飲料、スープなどで水分補給をします。
- ・外出を控え、無理をして学校や職場などに行かないようにします。
- ・感染防止のために、マスクを着用します。



◎インフルエンザに感染

- しやすく注意が必要な方とは、
- ・高齢者や、疲労気味、睡眠不足の方
- ・慢性疾患（慢性呼吸疾患、慢性心疾患、糖尿病等の代謝性疾患、腎機能障害、免疫機能不全）を抱えている方は病院を受診し、インフルエンザの予防を早めに心掛けましょう。



前原病院秋祭り



◎10月某日、秋晴れのさわやかなお天気恵まれて、賑やかな祭りばやし流れるなか、患者様、ご家族、スタッフで“秋祭り”を3階屋上庭園で開催しました。

まずは「ボーリング」です。ピンを空のペットボトルに変えていますが、全部倒すのは大変なようでした。



釣り竿でおみくじ入りのストラップを釣り上げ、「わあ大吉」「小吉だあ」等々歓声が上がりました。

何年ぶりかの綿あめを手にした患者様、スタッフとドリンクを選んで秋祭りを満喫されていました。



「レディオ BINNGO」の方が“秋祭り”の取材に訪れて下さいました。

患者様がたこ焼きをばくり、その御様子に奥様が笑顔に、とても微笑ましくて皆の心が和みました。



スタッフがたこ焼きと綿あめの出前を病室にしました。患者様の笑顔に皆でハイ！ポーズ。



「お砂踏み」

“お砂踏み”とは：四国八十八カ所霊場各札所の「お砂」をそれぞれ集め、そのお砂を札所と考えて、「お砂」を踏みながらお参りすることです。その御利益は実際に遍路をしたことと同じであるといわれています。

“お砂踏み巡礼”とは：様々な理由で四国遍路が出来ない方に、少しでも四国遍路を身近に感じて頂ければと、お砂踏み一式を皆様の元にお持ちして、お砂踏み体験して頂けるよう考えました。

“お砂踏み”の参り方：お砂踏み参加者の方は、まず御住職にお清めの香を頂き、手、頭の順で体に撫でつけ、その後右回りに緋毛せんを踏みしめて、お砂踏みを行いそれが終了すると御住職にお札を頂きます。

開祖 弘法大師



各札所の御本尊様が描かれて
いる屏風です。



緋毛せんの下に八十八カ所霊場各札所の“お砂”が敷いてあります。



最初は院長からお参りが始まりました。



お参り後にお札を頂く患者様



スタッフと御本尊様を拝見する患者様



本日お見えになった御住職方です。



前原病院 市民公開講座

10月10日(土)14時～15時30分
 当院1階リハビリテーション室で
 演題「医療における終活」
 ～最後まであなたらしく生きることを
 支える人生の最終段階における
 話し合いのプロセス～



前原 弘江医師

出席頂いた方々



あなたは最期の時をどう過ごしますか？

講師：前原病院 ハートベル ホスピス長 前原 弘江医師による講座を開催しました。
 出席頂いた方々にお礼を申し上げます。

～お知らせ～

- ★予防接種は予約制となっております。
- ★健康診断は随時。
- ★前原病院人間ドッグは、ご希望に合わせてメニュー組むことができますので、ご相談下さい。
- ★特定健康診査、乳癌検診、福山市がん健診(胃がん、肺がん、大腸がん)実施医療機関です。

前原病院の 概要

1日平均外来患者数：46人

1日平均入院患者数：療養病床40人、緩和ケア病床：9人

平均在院日数：療養病床132日、緩和ケア病床29日

平成27年
10月現在

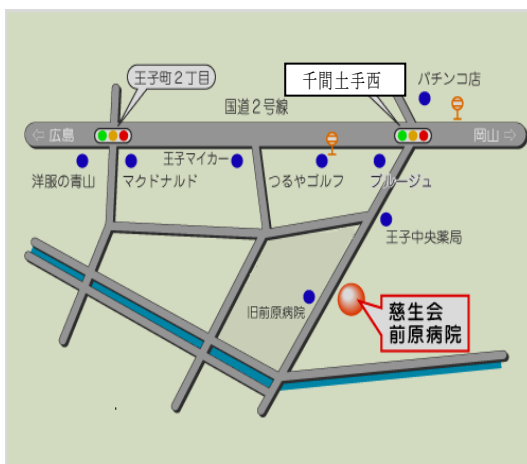
内科・胃腸科・放射線科・緩和ケア内科・リハビリテーション科
 慈生会 前原病院

※福山市手城町一丁目3-41 TEL (084) 925-1086 FAX (084) 923-4504

診療受付時間

午前8:30～12:30 / 午後14:30～17:30

※木・土曜日午後、日曜日、祝祭日は、休診です。



＜バスでお越しの方＞

中国バス：鋼管方面行き
 バス停「千間土手西」下車、南へ徒歩3分

＜車でお越しの方＞

国道2号線を岡山方面へ進み、
 「千間土手西」交差点を右折

☆多編集後記☆多

朝晩めっきりと寒さが感じられる季節となりました。「今しばし しばしと被る ふとん哉」という小林一茶の句が身近に感じられます。こう言う心持ちは、今も昔もあまり変わっていないように思います。
 広報誌編集部一同